２電源プリアンプ・ユニット・シリーズ

ER-456,EF-458,TC-459,MX-501

【RIAA用イコライザー】　【フラット・アンプ】　【トーン・コントロール】【５ch・ミキサー】

＜取扱い説明書＞

このたびは、有限会社ユニエル電子の製品を御買上げ頂き、誠に有り難うございます。このシリーズは、Hi-Fi 用モノリシックICを使用した低雑音、低歪率、高耐圧（入力ダイナミックレンジが広い）と高性能で、安定した動作をいたします。同種ユニットを２枚づつ組み合わせて御使用になればステレオ・プリアンプとして特性の良さを発揮します。また、このシリーズは、±２４Ｖ統一電源のため、システム化に大変便利です。なお、安定化電源には、AVR-356S-Bが最適ですが、AVR-789Gでも、充分性能を発揮します。この説明書を良くご覧の上、ぜひトラブルの無いようにお取扱い下さい。

■取扱い上の注意

①電源電圧は、推奨定格（±２４Ｖ）でご使用下さい。（★このアンプ・ユニット・シリーズは、２電源で動作する様に設計されていますから、【＋】だけ、【－】だけでは動作しないばかりか、故障の原因になります。【＋】【－】電圧のバランスにもご注意下さい。）電源回路の配線には出来る限り太い線を使用し、最短距離に成る様、そしてトランスからは、充分離して配線する様、心がけて下さい。（配線の状態によってはハムが出たり、発振致しますので細心の注意をして下さい。）☆電源のシャーシーアースは、プリアンプから取らずに、整流回路の電解コンデンサーの【＋】【－】端子の交点から(AVR-356S-B AVR-789Gは、出力のＧ端子から）シャーシーに落として下さい。

②入出力回路には、必ずシールド線を使用し最短距離で配線して下さい。ターミナルを設置する場合は、金属部分がシャーシーより独立している物を使用して下さい。また、TC-459(TONE CONTROL)・MX-501(MIXER)等のレベル・コントロールには５０ＫΩＡ型のＶＲを設置して下さい。なお、シールド線の外側（網）も、シャーシーに触れたり、アースをしたりしないで下さい。無論、ラグ端子を使用する場合も、取付け部分以外が、シャーシーに触れない物を使用して下さい。

③基板をシャーシーに取り付ける場合は、５㎜位のカーラーを使用して下さい。

④MX-501(MIXER) のＧ端子は、ラグ端子で中継してお使い下さい。（実体配線図参照）★Ｇを取り付けたラグ端子がシャーシーに触れない様、ご注意下さい。また、入力の空端子は、必ずＧ端子に接続して下さい。

■電気的特性

	ＥＲ－４５６	ＥＦ－４５８	ＴＣ－４５９	ＭＸ－５０１
最大電源電圧	±26.5V	±26.5V	±26.5V	±26.5V
推奨電源電圧	±24V	±24V	±24V	±24V
消費電流	4.5mA	4.5mA	5mA	4.5mA
最大入力電圧	310mV	350mV	310mV	7500mV
最大出力電圧	17V	17V	12V	15V
歪率(f=1KHz,5V)	0.0015%	0.003%	0.01%	0.0015%
入力インピーダンス	50KΩ	50KΩ	50KΩ	100KΩ
電圧利得(±1dBm)	36dBm	36dBm	11dBm	6dBm
周波数特性及び各種特性	RIAA偏差(±1dB以内)	10Hz~100KHz(±2dB以内)	低域変化量(100Hz) ±11dB(±1dB) 高域変化量(10KHz) ±11dB(±1dB)	10Hz~100KHz(±2dB以内) 【１系統５入力】 【１系統１出力】
出力雑音電圧	-86dBm	-74dBm	-75dBm	-90dBm

■寸法

基板ユニット寸法〔ＥＲ－４５６，ＥＦ－４５８〕……　W57×D37×H16㎜

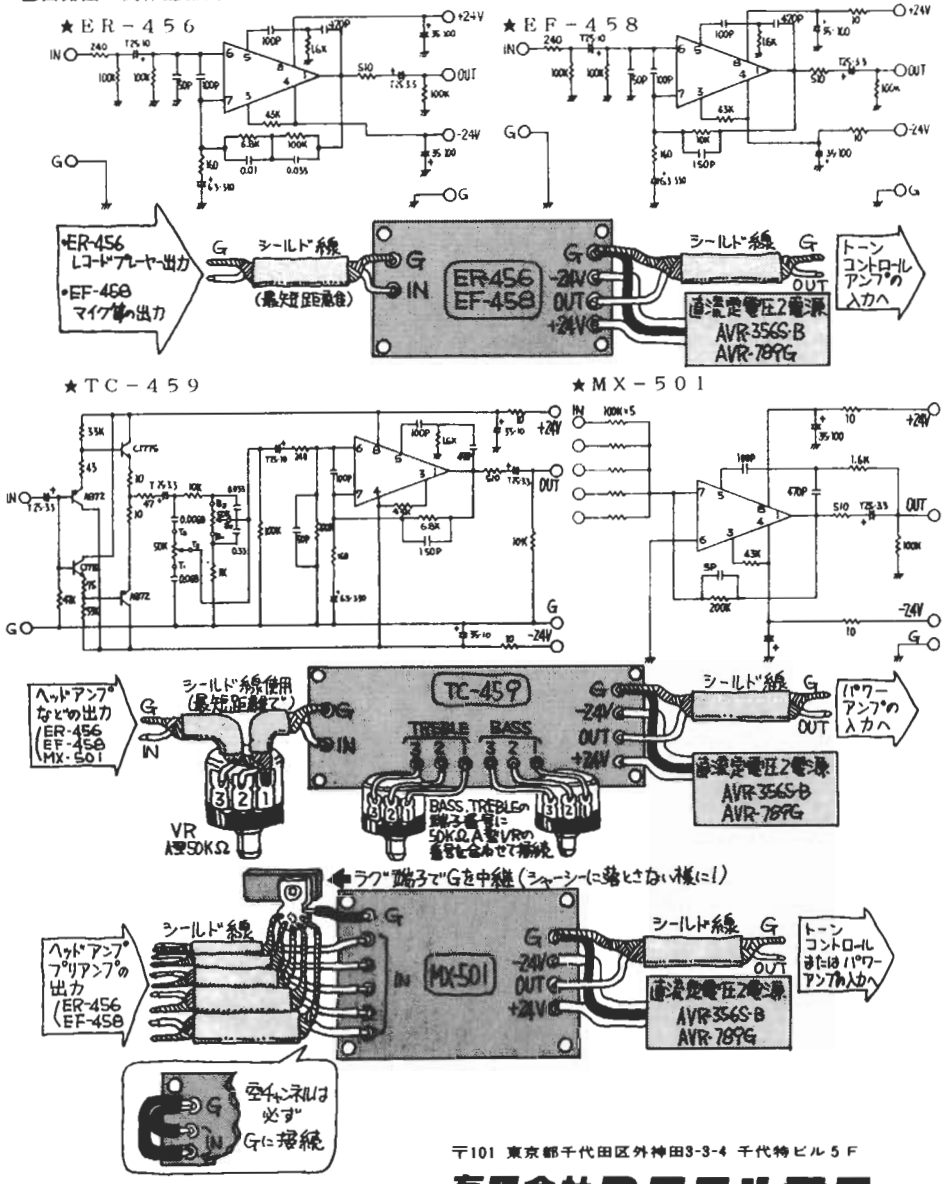
〔ＴＣ－４５９〕……　W95×D40×H16㎜

〔ＭＸ－５０１〕……　W60×D45×H16㎜

基板取付け穴寸法 ……　3.2㎜φ×４箇所

基板取付け穴位置 ……　Ｗ面Ｄ面からそれぞれ3.5㎜内側

■回路図・実体配線図



〒101 東京都千代田区外神田3-3-4 千代特ビル５Ｆ

有限会社ユニエル電子

☎03-3253-8086

※回路および定数等は改良のため、予告なく変更する事が有ります。